

令和6年度
「ゼロエミッションみえ」
プロジェクト推進方針の取組状況

令和6年10月29日
三重県 政策企画部

「ゼロエミッションみえ」プロジェクト推進方針

- カーボンニュートラルの実現に向けた動きをチャンスにとらえ、**県内の産業・経済の発展**につなげるため、6つの柱で取り組んでいます。

脱炭素に向けた取組

両立する
取組

産業・経済の発展
に向けた取組

プロジェクトで取り組む6つの柱

1

自動車分野のEV化や
サプライチェーン再編
等への対応

2

カーボンニュートラル
コンビナートへの
転換促進

3

カーボンニュートラル
ポートの整備促進

4

再生可能エネルギーの
導入・利用促進

5

CO₂削減のための
高度な技術を活用した
リサイクル等の促進

6

CO₂吸収源対策を
契機とした林業等の
活性化

1 自動車分野のEV化やサプライチェーン再編等への対応

取組状況

- EV化をふまえた自動車産業の新分野進出や業態転換等の取組に対して、令和6年9月から製造業専門コンサルタントによるワークショップ、個別相談、マッチング会を実施(ワークショップ4回開催(予定))
- 次世代技術の先行的な開発や、高付加価値製品の開発・試作等を支援する「成長産業推進に向けた試作・開発支援事業補助金」を創設し、8件採択(うちEV関連4件)
- 令和6年4月に三重県産業支援センター北勢支所内に「ミカタプロジェクト三重県サテライト」を設置し、自動車専門コーディネーターによる伴走支援を実施

今後の取組

- 自動車業界におけるカーボンニュートラルの最新動向・技術等に関するセミナーの開催、ベストプラクティスの県内企業への横展開
- 業態転換等をめざす県内自動車関連企業の販路開拓に向けた大規模展示会(令和7年1月)の出展支援
- 自動車の電動化等にかかる関連企業の動向の調査・分析



2 カーボンニュートラルコンビナートへの 転換促進

取組状況

- 四日市コンビナートのカーボンニュートラル化をめざす将来ビジョン(グランドデザイン)の具現化に向けて取組を推進
 - ① 燃料電池トラック等の水素モビリティの普及・展開に向けた運送事業者等への導入意向調査
 - ② 水素ステーションの設置有望エリアにかかる調査
 - ③ バイオ燃料等のサプライチェーン構築に向けた実証事業の実施

今後の取組

- 「四日市コンビナートカーボンニュートラル化推進委員会」において、各部会の検討状況をふまえ、水素等の拠点形成等にかかる今後の取組の方向性を検討
- 国からの支援制度の活用を見据えて、「中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議」等とも連携し、今後のサプライチェーンの構築について検討



3 カーボンニュートラルポートの整備促進

取組状況

- 四日市港について、今年3月に作成した「四日市港港湾脱炭素化推進計画」に基づき取組を促進
- 津松阪港及び尾鷲港について、港湾脱炭素化推進協議会を開催し、計画作成に向けて検討（津松阪港:10月、尾鷲港:9月開催）

今後の取組

- 引き続き、四日市港港湾脱炭素化推進協議会の参画を通じて、四日市港管理組合と連携し、計画に基づいた取組を促進
- 各港湾脱炭素化推進協議会での検討をふまえ、今年度中を目途に津松阪港及び尾鷲港の港湾脱炭素化推進計画を作成



4 再生可能エネルギーの導入・利用促進

取組状況

- 県と関係市町(伊勢市、鳥羽市、志摩市、南伊勢町)合同で洋上風力発電について研究する勉強会を今年2月から開催(令和6年2月、5月の2回開催)
- 洋上風力発電にかかる県内産業創出の可能性や、経済波及効果、産業面以外での活用事例等を調査
- 地域と共生した再生可能エネルギーの導入に向け、国の法改正をふまえ、「三重県太陽光発電施設の適正導入に係るガイドライン」(以下「ガイドライン」という。)を改訂

今後の取組

- 洋上風力発電に関して、三重県沖における浮体式も見据えた検討
- ガイドラインの改訂等をふまえた太陽光発電施設の導入・地域共生に関する県内の実態を考慮し、ガイドラインにおける対象範囲の更なる見直しなどの検討
- 今年度に取り組んでいる電力供給事業のプロジェクト案の可能性調査の取りまとめ
- 次世代太陽電池(ペロブスカイト)の導入の検討



5 CO₂削減のための高度な技術を活用した リサイクル等の促進

取組状況

- プラスチックの高度なリサイクルを促進するため「三重県プラスチックリサイクルマッチングシステム(みえプラ)」の公開、運用を開始
- 使用済み太陽光パネルについて、再生資源の活用に向けた潜在的需要量の調査の推進

今後の取組

- 事業者、市町と連携し、家庭等で使用した食品トレイを、高品質かつ効率的に回収し、再び食品トレイにリサイクルする「トレイトトレイ」のモデル事業等を通じて、プラスチックのマテリアルリサイクルの促進
- 使用済み太陽光パネルについて、効率的・安定的なリユース・リサイクル体制の構築に向けた関連事業者と意見交換の実施



6 CO₂吸収源対策を契機とした 林業等の活性化

取組状況

- J-クレジットの活用を促進するため、森林整備やモニタリングなど業務のDX化について、林業普及指導員を中心として普及を推進
- J-クレジットの活用に意欲的な林業経営体の林業DXのために必要となる機器等の導入を支援
- 森林由来のJ-クレジット等の活用促進に向けて、「三重の自然由来カーボンクレジット活用推進に向けた連携プラットフォーム」を設置し、企業・団体向けの普及啓発セミナーを開催

今後の取組

- 県行造林(名張市)においてスマート技術を活用したモニタリング手法等を検証し、今年度中のJ-クレジット認証に向けて取組
- プラットフォーム会員の拡大に向けて取り組むとともに、関心のある企業・団体等とのマッチングを行うイベントを開催
- 県内のブルーカーボンの取組を進めている関係機関に会員を拡大し、Jブルークレジットの認証を受けた取組の周知

